

2023 年 5 月 8 日

和歌山県知事
岸本 周平 様

〒644-0022 和歌山県御坊市名田町上野 1465
日本野鳥の会和歌山県支部
支部長 中川 守

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
(公財) 日本野鳥の会
理事長 遠藤 孝一 (公印省略)

白馬山脈の風力発電施設の建設に関する要望書

陽春の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、私ども日本野鳥の会が進める自然保護活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

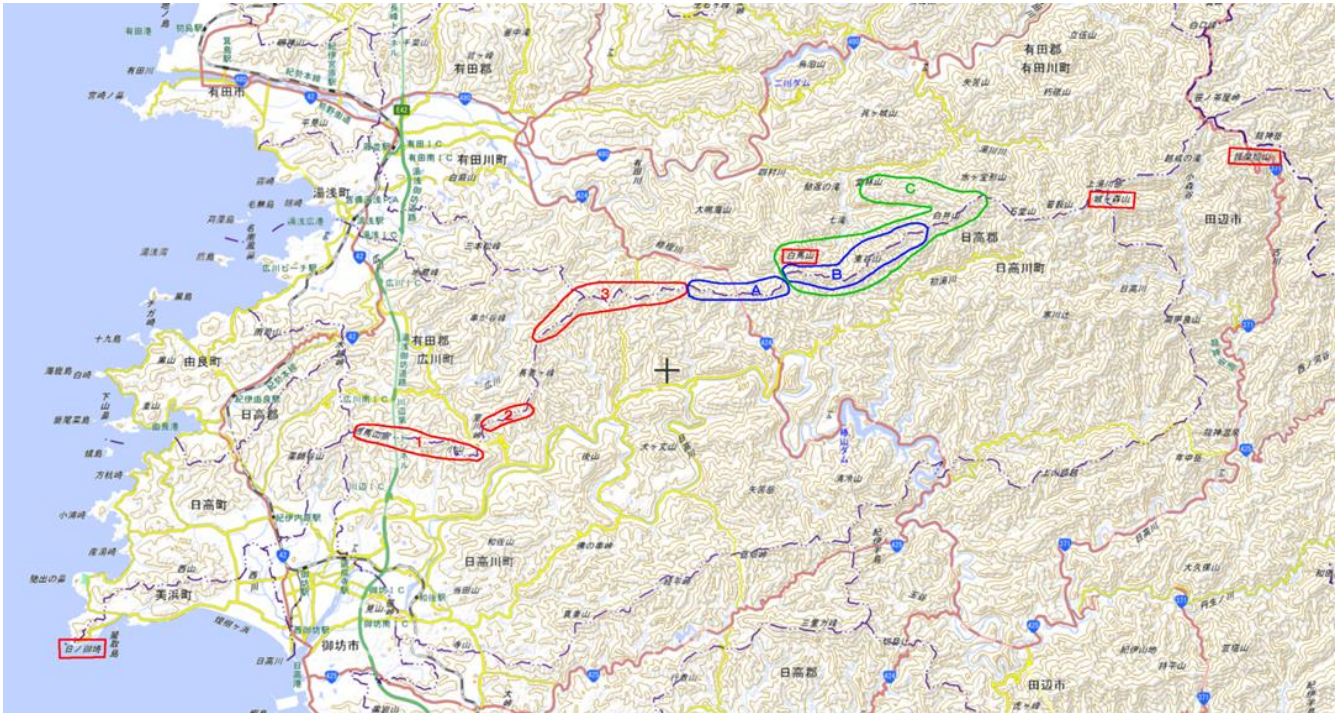
さて、現在、添付の資料にあるように白馬山脈では三つの風力発電施設（白馬ウインドファーム、広川・日高川ウインドファーム、中紀ウインドファーム）が稼働を開始しており、さらに、三つの風力発電施設（中紀第2ウインドファーム、DREAM WIND 和歌山有田川・日高川、紀中ウインドファーム）の建設が計画されています。現在計画中の風力発電施設の建設について、下記の理由から建設を中止するよう、貴職から事業者に対し厳しくご指導いただくとともに、環境影響評価の手続き上で知事意見を述べる際には、厳しい意見を発出していただけますよう要望いたします。

記

1. 風力発電施設の建設が計画されている地域は、和歌山県レッドデータブック 2022 年版において、「白馬・護摩壇山系」として「生物多様性保全上注目すべき地域」に取り上げられ、その中で「鳥類では、クマタカ、コノハズク、ジュウイチ、コルリ、オオアカゲラ等、希少種が多く生息している。また、和歌山県内でも有数の野鳥の生息地である。特にクマタカは、縄張りが連続して存在する等、生息密度は県内有数である。沢筋には、アカショウビンが生息する。」と記載されています。もちろん鳥類だけでなく、多種多様な動植物が生息・生育する貴重な地域です。未来に残すべき自然として取り上げられたこの地域に風力発電施設を建設することは、レッドデータブックのもつ意義に反することだと思います。
2. 既存施設の建設に係る環境影響評価では、生息するクマタカへの影響は軽微であると結論づけられたまま、風車の建設が行われました。しかし、事業者が自ら行った事後モニタリング調査では、当該地域で繁殖していた複数のクマタカのつがいで繁殖が見られなくなっています。これは、影響は軽微であると予測した環境影響評価の結論が誤りであったことを示唆します。今後、白馬山脈で計画中の風力発電施設が建設されると、同様のことが起きる可能性が高く、再び貴重なクマタカの生息地が失われる可能性が高いと考えられます。これは、上記のレッドデータブックの趣旨と矛盾することです。

以上の理由から、白馬山脈におけるこれ以上の風力発電施設の建設は、和歌山県の貴重な自然とそこに生息する生物に与える影響が大きいと考えられ、貴職から事業者に対して、事業の「見直し」または「中止」を強く勧告していただけますよう要望いたします。

資料 白馬山脈における既存および計画中の風力発電施設



- ・日ノ御崎：タカ渡りで有名、県 RDB2022 「生物多様性保全上注目すべき地域」の「西有田～煙樹海岸」
- ・白馬山・城ヶ森山・護摩壇山：県 RDB2022 「生物多様性保全上注目すべき地域」の「白馬・護摩壇山系」

○既存の風力発電施設（赤の区域）

1. 白馬ウインドファーム	2008年12月	1500 kW	20基
2. 広川・日高川ウインドファーム	2014年11月	1990 kW	10基
3. 中紀ウインドファーム	2021年4月	2100 kW	23基

○計画中の風力発電施設（青および緑の区域）

- A. (仮称) 中紀第二ウインドファーム事業…配慮書（令和2年6月）／準備書（令和3年3月）
- B. (仮称) DREAM Wind 和歌山有田川・日高川風力発電事業…配慮書（令和2年7月）
- C. (仮称) 紀中ウインドファーム事業…配慮書（令和2年6月）